

コナミクリエイティブセンター銀座

設計 櫻井潔 / ETHNOS

施工 三井住友建設

所在地 東京都中央区

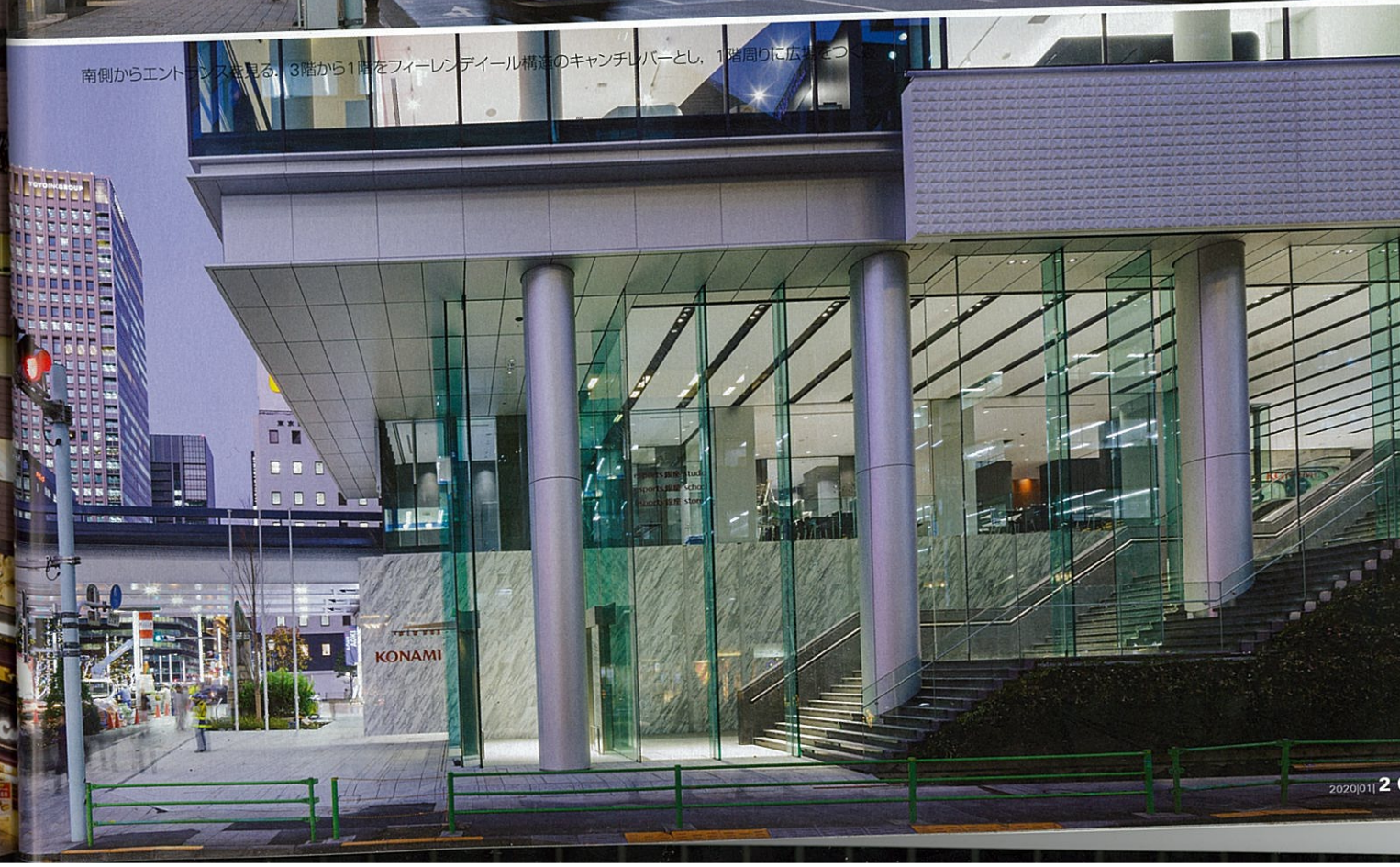
KONAMI CREATIVE CENTER GINZA

architects: ETHNOS

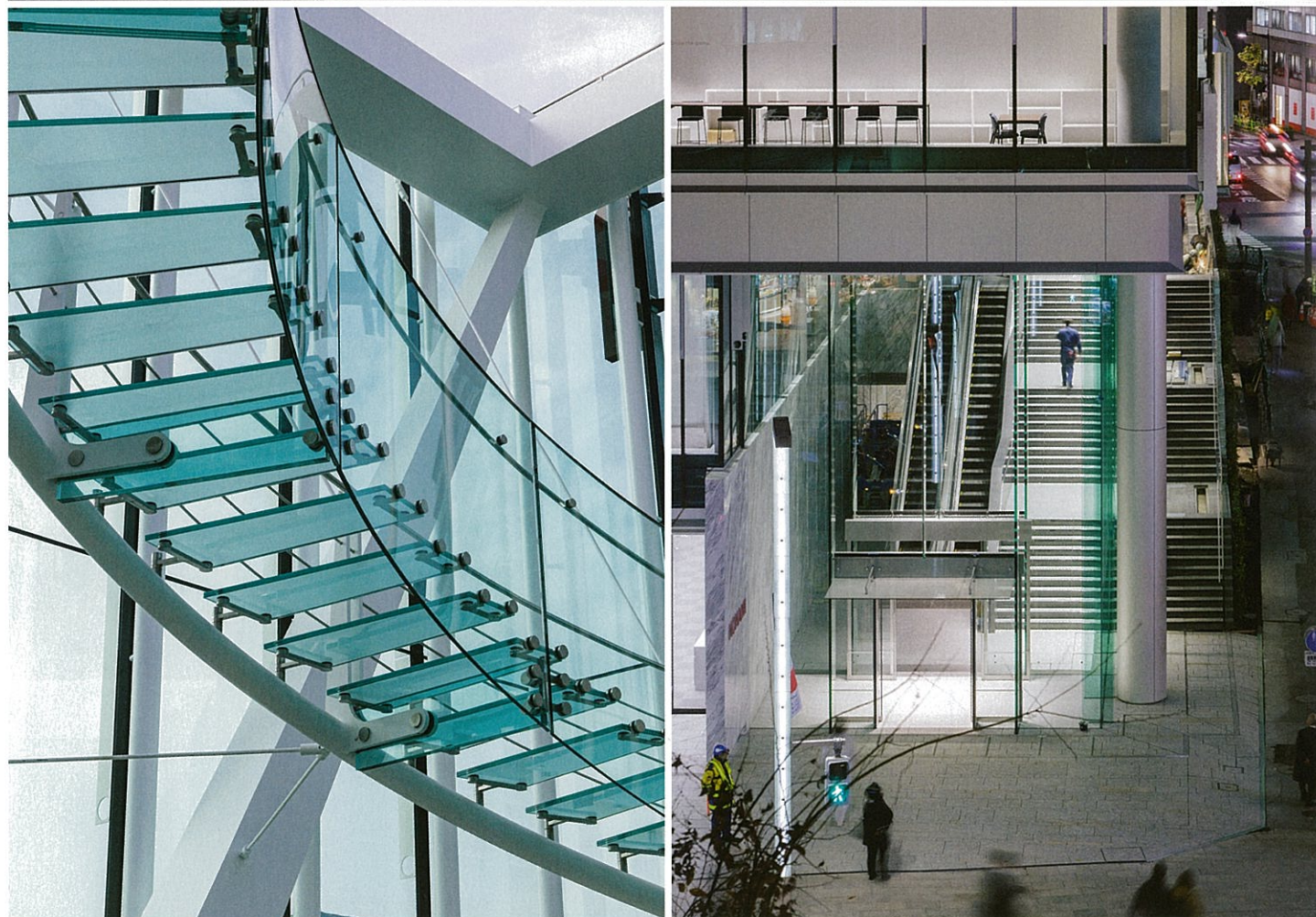


銀座中央通りから見る。銀座アトルビル(本誌6706)新地に建つ。写真右側は、KIRARITO GINZA(本誌1412)

南側からエントランスを見る。3階から1階をフィレンディール構造のキャンチレバーとし、1階周りに広場をつ



西側全棟は、エンターテインメント企業コナミのソフト開発センター。エンターテインメントの世界への発信、esportsの拡大・活性化の拠点、一人の開発現場のほか、esportsに関する人材育成を行うスクールや音響や照明といった演出、および映像配信に関する機材も、最適な設備を完備した公共ホールを備える。



上：2階ホワイエからホールを見通す。ホールは、10×6mのLEDディスプレイが備えられ、esportsの大会などに利用される。パブリックビューイングなどの公共利用も想定されている。
下左：12階、天空の庭のガラス階段。下右：西側からエントランスを見る。大階段から、ホワイエ、ホールへと繋がる。

時を刻む

世界でも指折りのブランド集積地銀座に、総合エンターテインメント企業コナミのソフト開発センターが創業50周年を記念して誕生した。先端の空気を思い切り吸い込んでユーザーオリエンテッドな開発を行い、それをいち早く世界に発信するというのがこのプロジェクトの目的であった。

銀座に面した正面はできる限り開放的なカーテンウォールとし、フィレンティールのキャンチレバー構造によって1階回りを広場として開放、側道側に視線の連続を実現した。1階は賑わいをつくる店舗、レストラン、カフェを配し、さらにエントランスから

大階段、ホワイエ、ホールと繋がる1、2階をパブリックスペースとして開放した。3階から12階はまさにクリエイティブセンターで、esportsのスクール、撮影用スタジオ、音響スタジオ、最先端のソフト開発スペースがラインアップされている。VRを競う開発者に本当に必要なものは何なのか。フレキシビリティと快適性、集中と弛緩の最適な連続、さらに自然との繋がり、世界との繋がり、まさにリアルな人と人との繋がりではないかと考えた。本物の素材を集め、各所にコミュニケーションの場をつらえた。ここで重要なのは「時間」。街に対しては12階の天空の庭に月の満ち欠けを写し、定時に

は帰宅を促す光のリングを設け、その下には波紋を立てる真円の池、時を伝える自然石が据えられており、上階の緑は紅葉によって季節を伝えてくれる、外壁は立体成型のコンクリートパネル。純白より白いフッ素樹脂仕上げに表れる、陰影によって時間の移ろいを伝えてくれる。カーテンウォール方立の円形の穴も月をテーマにしたもの。ガラスに写り込んだバーチャルな円とリアルなアルミの円との対比を狙ってのものである。

自然と永遠の時に支えられ、さらに新しいエンターテインメントが銀座から世界中に発信されることを期待したい。
(櫻井潔)



12階、天空の庭。鉄とガラスによる階段が、屋上庭園へと続く。上部のリングは、月の満ち欠けに対応して光る照明。和泉正敏氏による自然石の彫刻が日時計として、水盤に据えられている。

コナミクリエイティブセンター銀座 (本文206頁)

●案内図は新建築Onlineへ
http://bit.ly/sk2001_map

所在地 東京都中央区銀座1-11-1
主要用途 事務所 集会場 物販店舗 サー
 ビス店舗 飲食店舗 防災備蓄倉庫
建主 コナミリアルエステート
設計
建築 櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS
 担当/櫻井潔 櫻井建人 夏井俊
 釜澤広成(協力)
構造 Arup
 担当/与那嶺仁志 西澤秀樹
 後藤一真 伊藤真太郎
 掛本啓太(元所員)
設備 Arup
 担当/橋田和弘 増井周平
電気 Arup
 担当/向井一将 榎引祐太
照明 LPA
 担当/面出薫 窪田麻里 山本幹根
 岩田昌大
ファサード G-MAPS
 担当/賀井伸一郎
監理 櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS
 建築担当/櫻井潔 櫻井建人
 須田豊(監理協力)
 Arup
 構造担当/与那嶺仁志 西澤秀樹
 後藤一真
 設備・電気担当/橋田和弘 向井一将
 齋藤一浩(監理協力)
施工
建築 三井住友建設
 担当/杉江嘉男 北澤基至 田代健治
 篠原謙治 五十嵐龍介 清水雄一
 浜崎俊一 鈴木保義 賀野琢磨
 高林勇介 柴田悠平 古賀孔将
 山下壘梨 中村昂太 竹鼻彰 川合良延
空調 衛生 高砂熱学工業
 担当/齋藤一志 戸叶昌宏 古屋敏宏
 浦野草太郎 原拓矢 高橋昌寛
電気 関電工
 担当/岸真弘 池田貴哉
石(12階) 和泉屋石材店
 担当/和泉正敏
エレベータ 日本オーチス・エレベータ
 担当/高橋浩 三ヶ田昌紀 丸林浩

外装PC 高橋カーテンウォール工業
 担当/河内浩 能勢勲
金属パネル 菊川工業
 担当/渡辺直子 伊藤正一郎
石 矢橋大理石
 担当/田中芳幸 日比野芳樹
店舗 船場
 担当/塩山博史 石黒智章
家具 住商インテリアインターナショナル
 担当 秋庭洋介 川崎昭子
 小玉恒一郎
オフィススペース家具パーティション オカムラ
 担当/奥出雄一 向井幸博
 木和田真里
スクール内装 ジェルアソシエイツ
 担当/永門大輔 柴田誠
TV会議システム 内田洋行
 担当/大谷真 鴨下航大
AV機器 共信コミュニケーションズ
 担当/黒田祥司 間島康史
ホール内音響設備 三友
 担当/綿引徹 奈良田貴之
金属建具 LIXIL
 担当/味波勝義
金属建具 三和シャッター工業
 担当/田沢耕二
金属建具 三和タジマ
 担当/松野雄一
シャッター 鈴木シャッター
 担当/喜瀬雅也
ガラス セントラル硝子工事
 担当/渡辺直義
内装 高島屋スペースクリエイツ
 担当/木暮和人 柿本浩之
スタジオ ソナ
 担当/高山恵梨 堀江益英
規模
敷地面積 2,527.12m²
建築面積 1,901.85m²
延床面積 22,509.19m²
地下1階 1715.67m² / 1階 1,603.84m²
2階 1,595.67m² / 3階 1,472.84m²
基準階 1,793.53m² / 12階 1,555.88m²
塔屋 217.05m²
建蔽率 75.26% (許容:100%)
容積率 768.28% (許容:768.28%)
階数 地下1階 地上12階 塔屋1階
寸法
最高軒高 54,350mm

最高高さ 62,000mm (工作物含む)
階高 事務室:4,250mm
天井高 事務室:2,800mm
敷地条件
地域地区 商業地域 防火地域 銀座地区地
 区計画区域 都心部駐車場整備地区
高度利用地区
道路幅員 西27m 南15m
駐車台数 62台
構造
主体構造 鉄骨造(免震構造)
基礎 直接基礎(ベタ基礎)
設備
環境配慮技術
雨水利用 昼光センサ・人感センサ照明制御
全熱交換機 CO₂濃度換気制御 節水
衛生器具
空調設備
空調方式 オフィス部他:空冷ヒートポンプマ
 ルチパッケージ方式
**ホール部:直膨コイル式エアハンドリングユニ
 ヲット**
衛生設備
給水 上水:高架水槽方式 雑用水(雨水利
 用):加圧給水方式
給湯 局所方式
排水 自然流下方式 一部排水調整槽からの
 ポンプアップ
電気設備
受電方式 高圧6.6kV本線・予備電源受電方式
設備容量 4,550kVA
予備電源 屋外パッケージ型ディーゼル発電
 機6.6kV 1,000kVA
防災設備
消火 スプリンクラー設備 泡消火設備 八
 ロンガス消火設備
排煙 機械排煙 押し出し排煙 加圧防排煙
総合操作盤 緊急救助用スペース灯火
 設備
昇降機 乗用エレベータ(30人乗り)×6台
 乗用エレベータ(11人乗り)×1台 非
 乗用エレベータ(24人乗り)×2台 エ
 スカレータ×1台
工程
設計期間 2016年2月~2017年4月
施工期間 2017年5月~2019年11月
外部仕上げ
屋根 アスファルト外断熱工法 押えコンクリ
 ート 最上部ファインフロア(日鉄建

材)
外壁 特殊ゴム型枠プレキャストコンクリート
 低汚染フッ素樹脂塗装(住理工商事)
開口部 中央通り側:Low-Eガラスカーテン
 ウォール PCパネル部:方立補強
 Low-E複層ガラス(セントラル硝子)
外部床:外構 花崗石JB 乱貼り
内部仕上げ
エンタランス
床 花崗石JB
壁 花崗岩水磨き
天井 金属フレームガラスクロス膜(トニー)
ホール(浮き構造)
床 Pタイル
壁 ステンレス編み込み特殊吸音可動壁
天井 クリンプネットパネル
オフィス
床 OAフロア(ジャパンネットトレーディング)
 タイルカーペット(東リ)
壁 PBの上EP
天井 岩綿吸音パネル システム天井(パナ
 ソニック)

櫻井潔(さくらい・きよし)



1950年兵庫県生まれ /
 1976年京都大学大学院修
 了 / 1976年日建設計入社、
 副代表、設計統括、代表取
 締役員社長を歴任 / 2013
 年櫻井潔建築設計事務所・ETHNOS設立 /
 2017年~芝浦工大客員教授

櫻井建人(さくらい・たてひと)



1980年東京都生まれ /
 2003年武蔵野美術大学造
 形学部建築学科卒業 /
 2003年アーキテクトファイ
 ブ入社 / 2014年~櫻井潔
 建築設計事務所・ETHNOS

多田善昭(ただ・よしあき)



1950年香川県生まれ /
 1973年近畿大学理工学部
 建築学科卒業 / 1973~83
 年齋藤孝建築設計事務所 /
 1983年多田善昭建築設計
 事務所設立 / 1995年ZEN環境計画室併設 /
 2013年~本山寺五重塔整備委員会委員長

西沢大良(にしざわ・たいら)

1964年東京都生まれ / 1987年東京工業大学
 卒業 / 1993年~西沢大良建築設計事務所代
 表 / 2013年~芝浦工業大学教授

羽藤英二(はとう・えいじ)

1967年愛媛県生まれ / 1998年愛媛大学助手
 / 1999~2000年MIT Visiting Scientist /
 2001~03年Leeds大学 Visiting Research
 Associates / 2003年位置情報と都市設計技
 術を専門とするTransField社設立 / 2006年
 東京大学都市工学科准教授を経て、2012年
 ~東京大学社会学部基盤学科教授、ネパール工科
 大学教授を兼任

林千晶(はやし・ちあき)

1971年東京都生まれ / 1994年早稲田大学商
 学部卒業 / 1994~97年花王 / 1998~99年
 ボストン大学大学院ジャーナリズム学科卒業 /
 2000年ロフトワーク共同創業者 / 2015年飛
 騨の森でクマは踊る創業

門脇耕三(かどわき・こうぞう)

1977年神奈川県生まれ / 2000年東京都立大
 学工学部卒業 / 2001年同大学院工学研究科
 修士課程修了 / 2001~05年同大学助手 /
 2005~07年首都大学東京助手 / 2007~12
 年同大学助教 / 2012年~明治大学専任講師
 / 2012年~アソシエイツ設立・パートナー /
 2016年~東京藝術大学非常勤講師 / 2017年
 ~日本女子大学非常勤講師 / 博士(工学)

案内図がwebに移行しました。

新建築のDATA SHEETの案内図はウェブページでご覧頂けるようになりました。新建築Online
 の各作品ページからはその場所へ直接リンクしています。専用案内図アドレスhttp://bit.ly/
 sk2001_map (1月号)からもご覧頂け、その月に掲載された作品の場所を一覧できます。